

選 択 チ ョ イ ス

特集 ~若年妊娠を考える~ Teenage pregnancy
feature article Choice

徹底分析 中高生の性の若年齢化 大人が思っているほど「子ども」じゃない!

前田津紀夫先生 (産婦人科医)

妊娠日記♥ 未成年での妊娠を経験して変わった「ニップのココロ」

松倉美穂さん あなたを支える人がいる SOS
インタビュー:しずおか妊娠

決断するあなたへ、決断したあなたへ 若年の妊娠・出産・中絶リスク

篠原弘光先生(しのはら産科婦人科医院) 伊東充宏先生(リバティこどもクリニック)

密着ルポ:誕生学®スクールプログラム 生徒の本音は?「セイトのシセン」

若年妊娠をどう思う? 意見 育児をもっと楽しく:家庭教育講座
現役パパ・ママ6人の by 社会教育課

しまだの産前産後 お役立ちサポートサービス 10選

ワガヤのタカラ 出産の直後に撮影 Our Choice! 倉田由加さん一家

告白 若年妊娠を見守った母親が語る「ハハのハハのキモチ」



chap. | CONCEPTION

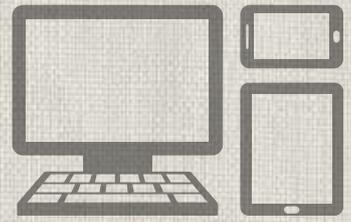
進む性体験の低年齢化

日本社会で取り沙汰される、晩婚化と晩産化。一方で、近年の中学生・高校生においては、身体的発育の早熟と、興味本位な性情報や性産業の氾濫などにより「性体験の低年齢化」が進んでいる。情報化や少子化など、子どもを取り巻く環境が大きく変化している中、性の価値観は多様化し、思いがけない妊娠に悩む生徒が増加している。「望まない妊娠」を減らし、自己決定による人生を歩むために必要なものとは。20歳未満での「若年妊娠」がもたらす、数々の「選択」について考える。

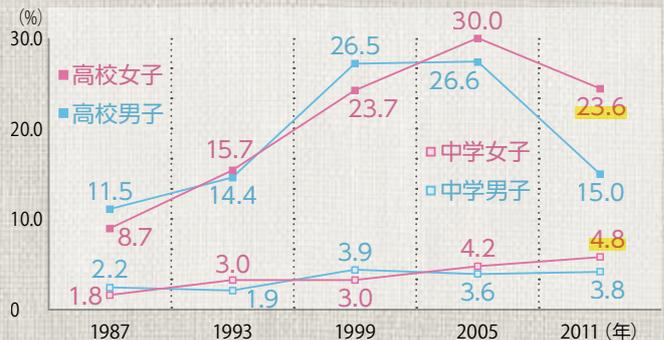


15歳以下での妊娠数は年間1,500人以上

若年産化



Q. 先生! JKやJCの妊娠が増えて、結構中絶してるってホント?



① 中高生の性交経験率の経年変化

(財)日本性教育協会「第7回青少年の性行動全国調査報告」

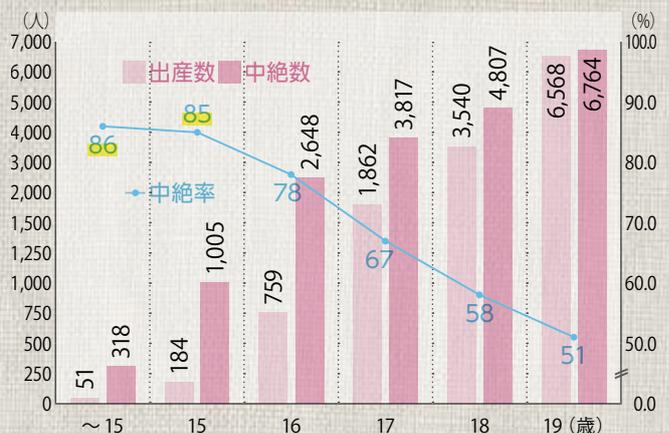
現実

chap. REALITY

直視すべきリアルな性

| 自治体 | ~14歳 | 15~19 | 20~24 | 25~29 | 30~34 | 35~39 | 40~44 | 45~49 |
|------|------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 島田市 | - | 9 | 70 | 197 | 267 | 146 | 29 | 1 |
| 焼津市 | 1 | 10 | 91 | 288 | 341 | 184 | 43 | 1 |
| 藤枝市 | - | 9 | 77 | 329 | 409 | 245 | 42 | 2 |
| 牧之原市 | - | 6 | 45 | 97 | 114 | 60 | 9 | 1 |
| 吉田町 | - | 2 | 30 | 79 | 82 | 29 | 12 | - |
| 川根本町 | - | - | 4 | 15 | 14 | 7 | 1 | 1 |
| 市町合計 | 1 | 36 | 317 | 1,005 | 1,227 | 671 | 136 | 6 |
| 県総数 | 1 | 326 | 2,505 | 8,192 | 10,391 | 6,018 | 1,227 | 24 |

③ 志太榛原地区の母の年齢別(5歳階級)出生数 (静岡県 平成26年「静岡県人口動態統計(出生)」)



② 若年者の出産数、中絶数と中絶率(2013年度全国)

(厚生労働省 平成25年度「衛生行政報告例」・平成25年「人口動態統計」)

若者の性の現状を統計から見ると、高校生の性交経験率は低下している。一方で中学生女子の約20人に1人、男子の25人に1人が、性交(セックス)を経験していることが分かる(グラフ①)。

未成年での性交が妊娠につながった場合は67%、中学生では85%以上が人工妊娠中絶を選択(グラフ②)。20代の中絶率21%と比べても、若年妊娠が「継続できない妊娠」や「望まない妊娠」につながる可能性が伺える。

一方で、10代の妊娠が出産に至る割合は、年々増加している。自覚や知識不足により、出産の選択肢しかない時期まで産婦人科を受診しないからだ。

学年や性別でも大きく異なる性的関心。「寝た子を起こすな」という意見もある中で、大人が中高生の「リアルな性」を直視しなければ、有用な情報は子どもたちに届かない。

性の情報源はネットやスマホそして友達

大人が思ってるほど「子ども」じゃない!

≡中学・高校≡ 性の



まえだ つぎお
前田津紀夫 医師
前田産科婦人科医院
理事長 / (公社) 日本産
婦人科医会 常務理事
Tsugio Maeda

A. 本当ですよ! 避妊しないでセックスすると、中学生でも妊娠します。大人が教えるべきです。

| 年齢 | 初診週数 | 症状 | 処置 |
|-----|------|--------|--------|
| 14歳 | 14週 | 中絶希望 | 中期中絶 |
| 14歳 | 不明 | 下腹痛 | 来院せず |
| 15歳 | 12週 | 中絶希望 | 中期中絶 |
| 15歳 | 6週 | 中絶希望 | 初期中絶 |
| 15歳 | 23週 | 中絶希望 | 来院せず |
| 15歳 | 11週 | 中絶希望 | 初期中絶 |
| 15歳 | 6週 | 中絶希望 | 初期中絶 |
| 15歳 | 6週 | 分娩希望 | 分娩(離婚) |
| 15歳 | 7週 | 中絶希望 | 初期中絶 |
| 15歳 | 16週 | 中絶希望 | 中期中絶 |
| 15歳 | 6週 | 妊娠検査希望 | 分娩(離婚) |
| 15歳 | 22週 | 生理不順 | 来院せず |

志太榛原地区*における中学生の妊娠例
(前田津紀夫「中学校における性教育」/一部加筆)
* 前田産科婦人科医院 1993 ~ 2015年

生 理不順で来院する中高生の中には、妊娠を心配している子もいます。つまり、心当たりがあるということ。一方で、幼い体で妊娠するはずがないと信じて、性交に及んでいく子もいる。性の知識や考え方のレベルが、個々で大きく違うのが現実です。また、平成18年から志太榛原地域の中学校で性教育講座を開催しています。が、生徒の性的興味の男女差も実感しています。

当然「性感染症」に対する危機感も低く、他の年齢層に比べて感染率が高いという統計結果が出ています。クラミジア・淋病・梅毒・エイズ。どれも、母子感染の原因となり、子どもの健康に影響を及ぼすにも関わらずです。性的興味が今は無いとしても、数年後に本人やパートナーが間違った選択をしないよう、我々医師は子どもたちの性に、正面から向き合う義務があります。だから、避妊に失敗した時のために、緊急避妊ピルの話もします。

| 後期 | 中期 (16 ~ 27 週) | | | | 初期 (0 ~ 26 週) | | | | | | | 期間 | | | | | | | |
|----------|-----------------------|----|----|-----|--------------------|-------|----|----|-----|----|-------|-------------|----|----|----|----|----|----|----|
| 第7~10月 | 第6月 | | | 第5月 | 第4月 | 第3月 | | | 第2月 | | 第1月 | 月数 | | | | | | | |
| 24~39 | 23 | 22 | 21 | 20 | 16~19 | 12~15 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | 週数 |
| | | | | | | | | | | 予定 | | | | 予定 | 排卵 | | 初日 | 月経 | |
| 出産 | | | | | | | | | | 胎児 | 検査薬反応 | | | | 着床 | 受精 | | 妊娠 | |
| 後期中絶 | 中期中絶(21週6日まで) | | | | 初期中絶(11週6日まで) | | | | | | | 中絶 | | | | | | | |
| 母体保護法で規制 | 分娩=陣痛促進剤投与(麻酔不可・要入院) | | | | 中絶手術=掻爬法*/吸引法(麻酔可) | | | | | | | *掻爬法(そうはほう) | 方法 | | | | | | |
| | 同意書、死産届、死体(胎)埋火葬許可申請書 | | | | 同意書(本人・パートナー・保護者等) | | | | | | | 手続 | | | | | | | |

妊娠と出産の関係

にんしんにっき♡

妊娠日記

PREGNANCY

DIARY

未成年での妊娠を経験

そのとき何を思い、その後どう出産と向き合ったのか。妊婦そして母としての日々の生活について、経験者に話を聞いた。

思いがけない妊娠による困惑と、中絶か出産を迫られる混乱。学業・生活・結婚に対する不安。さらに若年妊娠は、世間体や偏見に悩まされることも想像に難くない。

若年妊娠では、社会的・医学的サポートの遅れが、「望まない出産」につながるリスクとなる。しかし、同じ未成年である友達やパートナーが相談相手となることが多く、妊婦が必要な支援と早期につながりにくい現実がある。

社会が気付きにくい未成年の妊婦を孤立させないためには、周囲の大人にアクセスしやすい環境が必要だ。信用できる大人との交流は、その後の自己決定の礎となる。

interviewee & model

Miho Matsukura

まつくら みほ
松倉美穂さん

第1子を19歳で妊娠。二
児の母。来年2月に第3子
を出産予定。(中溝四丁目)

ニップのココロ

妊娠した時は、正直「ヤバッ」て思いました。デキ婚はやめてと、親に言われてたから…。でも、身内はみんな支えてくれました。母親失格だと叱ってくれたのも、心配してくれていたからだと、今は分かります。バアバに「母の日」のプレゼントを贈った娘も、最近私を母として認めてくれている。きっと子育て「親育て」なんじゃないかな。





妊娠・出産を経験して変わった3つのこと

Q 思いがけない**妊娠の不安**をどう解消したの？

A 周囲の**大人や身内**への相談。叔母に背中を押されて親に告白したことで、話が**前向き**に回り始めた感じ。

Q 出産とか将来の**子育てに不安**はなかったの？

A 友達が**高校生**で産んだけど、幸せそうだった。子育ての苦労ばかり見聞きしてたら、**違う印象**だったかも。

Q 未成年で**母親としての自覚**って芽生えるもの？

A 親とケンカして**頼れなくなった**とき、初めて親の責任を実感…出産はゴールじゃなくて**スタート**なんだった。



chap. | EXPERIENCE

きっと子育ては親育て

☎055-941-5006またはメールで(無料)



しずおか妊娠

検索

平 成24年に開設された「しずおか妊娠SOS」は、思いがけない妊娠に関するお悩み相談窓口です。県こども家庭課から委託された助産師などの資格を持った私たちが、相談に応じています。相談員の役目は、当事者の気持ちに寄り添うこと。誰にも言えない不安や恐怖を抱え困惑している声に、否定することなく耳を傾けます。生活支援などの希望があれば、行政とつなぐことも可能です。

出産か中絶のいずれれを選ぶにしても、前向きに将来を考えて決断することが大切です。人と人との関係が希薄になる社会で、子どもは大人を信用することに抵抗があるのかもしれない。それでも、大人との相談が早いほど、選択肢は広がるのです。相談は無料で、電話だけでなくメールでも受け付けています。若年妊娠で迷っても「あなたを支える人がいる」ことを、知ってほしいですね。

しずおか
妊娠SOS

みつもとけいこ
光本恵子さん
NPO法人リプロダクティブヘルス研究会
副理事長



この地域でも、若年の妊娠や中絶があるの？

当院で受け入れる分娩は、月間で40件前後。過去3年間に約1200件あったうち、8件が未成年での出産でした。また、同時期の人工妊娠中絶は184件で、うち9件が10代の少女でした。

母体へのリスクは？

若年妊娠は、妊娠中毒症(妊娠高血圧症候群)や分娩時の



しのはら産科婦人科医院
岸町 658-1 ☎33-4103

「学校に言わないから
独りでも早く受診を」



Hiromitsu Shinohara
しのはらひろみつ
篠原弘光 医師

talks about mothers

多量出血など、母体へのリスクが高いと言えます。また、未成年からの性交渉には性感染症の危険も潜み、不妊症や子宮外妊娠につながる可能性があります。

一方、若年からの中絶手術の繰り返しは、子宮内膜を傷つけ、将来的に前置胎盤や癒着胎盤などの妊娠トラブルを誘発します。大人になり子どもを欲しても、授かることが難しくなってしまうのです。

生徒だけで受診可能？

生理痛の相談だけでも大丈夫。親と来院しても、診察は本人だけと行い、学校に通報することもありません。妊娠していたとしても、何か道はあるはず。早めに受診し、周りの大人とより良い選択は何かを、考えていきましょう。



chap. | DECISION

関わりが導く自己肯定

子どもへのリスクは？

母体の骨盤が未発達なため、早産による低出生体重児や帝王切開の割合が高いとされています。また、染色体異常による自然流産や死産にも、母親の年齢が影響していると考えられます。

若年出産を選択した親が抱える育児への問題は？

初めて触れた赤ちゃんは、自分が産んだ子ども。核家



リバティこどもクリニック
河原一丁目4-34 ☎33-0077

「医者に言われて安心
できる子育てもある」



Mitsuhiro Ito
いとみつひろ
伊東充宏 医師

talks about children

族化が進んだ現代では、珍しい話ではないでしょう。若年出産であれば、なおさら親になる責任を知らないのです。日常生活で育児を体得できない社会構造であるならば、性教育と同時に子育て教育が、男女を問わず必要だと感じます。

間接的なリスクは何？

未成年の母親は、子育ての悩みを独りで背負い込みがちです。過度なストレスは、児童虐待の一因にもなります。子どもが発熱した時「それくらい大丈夫」と医者に言われれば、気が楽になることもあるでしょう。妊娠や育児の問題は、表に出すことが第一。当院だけで解決できなくても、来院したその一歩を、次の策につなげられるはずです。

ハイリスクとされる20歳未満の「若年妊娠・出産」。10代での妊娠や出産は、医学的・社会的の双方にリスクが多い。

若年での人工妊娠中絶は、その後の妊娠障害や月経異常、不眠やうつ状態など、女性の心身に影響を及ぼす。また、若いほど性感染症への意識が低いことが、増加する感染者数からも読み取れる(グラフ①)。治療しないままでの出産は、子どもの健康を脅かす母子感染を引き起こす。

一方で、貧困・暴力・離婚など若年妊娠・出産を抱える社会的リスクの中で、最も懸念される問題は子どもの虐待死だ。被害者の多くは、生後0日から0カ月の乳児(表②)。加害者の9割以上が実母であり、19歳以下が全体の3割と最も多い。

リスクの根底にあるのは、命への敬意。自己決定への支援とともに、幼少期から自尊心や生きることへの肯定感を養う「性と生」を考える経験が、現代の子どもたちに必要とされている。

| 年(年度) | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
|--------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 0歳児 ※割合は対・全虐待死の人数(心中以外) | | | | | | | | | | | | |
| 人数 | 11 | 23 | 20 | 20 | 37 | 39 | 20 | 23 | 25 | 22 | 16 | 27 |
| 割合(%) | 44.0 | 46.0 | 35.7 | 32.8 | 47.4 | 58.2 | 40.8 | 45.1 | 43.1 | 43.1 | 44.4 | 61.4 |
| 0日・0カ月児 ※割合は対・0歳児虐待死の人数 | | | | | | | | | | | | |
| 人数 | 2 | 8 | 8 | 9 | 17 | 26 | 7 | 12 | 11 | 11 | 4 | 15 |
| 割合(%) | 18.2 | 34.8 | 40.0 | 45.0 | 45.9 | 66.7 | 35.0 | 52.2 | 44.0 | 50.0 | 25.0 | 55.6 |

②0歳児と0日・0カ月児の虐待死事例の死亡人数と割合(厚生労働省「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について」)



①性感染症報告数の年次推移(15歳～19歳 男女総数)(厚生労働省「性感染症報告数」)

セイトのシセン

自分・家族・友達の命を、大人になって、早く自分の子どもを見たい。世界に、必要のない命など無いと思った。

命は、私の一生を守るんだと感じた。親が、子どもを思う気持ちが分かった。

Relax

誕生学® スクールプログラム

山田とも子さん
(公社)誕生学協会
誕生学アドバイザー
/保育士

中 学校で行う「赤ちゃんふれあいタイム」は、誰もが喜ばれて産まれてきたということを知る時間です。これは「生まれてきたことが嬉しくなると、未来が楽しくなる」をコンセプトに、子どもが自身の生命力を感じ自尊心を育む「誕生学スクールプログラム」の一環。市内では、小中学校や家庭教育学級で取り入れられています。

核家族化や少子化が進み、赤ちゃんふれあい機会が極端に減っている中で、妊娠・



赤ちゃんふれあいタイムで読み聞かせ(初倉中学校)

出産・育児について、児童や生徒に伝えることは容易ではありません。赤ちゃんとのふれあいは、誰もが持っている命のチカラに気付かせてくれます。生徒は自分が大切に産み育てられた過去を、参観する母親は自分の子どもが中学生に成長した未来を、想像できるのです。

指導要領にない「命・心・体」の大切さを伝える授業を、外部講師を迎えて教える。複合的な教育が今、求められているのではないのでしょうか。





妊娠・中絶・出産に惑う若者の前には、「孤独」という壁が立ち上がる。若年妊娠・出産への社会の無関心は、問題を不可視化し生きづらさを生む。

当事者は声を発する勇気を、地域は耳を傾ける関心を持たなければ、問題は見えてこない。

体験談や出会いで安心できる

出産や育児には、社会的な経験や知識が必要だけど、若いお母さんには不足しがち。親の体験談や、幸せな家族との出会いが、未来のイメージを膨らませると思います。

30代/妻

くほたあけみ
久保田 明美さん

(元島田)



30代/夫

まえだたくや
前田 拓也さん

(船木)



子育て経験者との関係が大切

育児の責任や収入が必要になるけれど、自立した生活が送れるのなら、出産もアリ。親や子育て経験者の協力があれば、きっと独りよりも前向きになれるはずですよ。

もっと相談窓口の情報提供を

妊娠した時、どこに相談できるのか知らない若者も多いはず。軽はずみな行動をしないことは前提だけど、地域の必要な情報は分かりやすく提供すべきだと思います。

20代/妻

かわくほ
川窪 あずさん

(野田)



「ベビープログラム」と呼ばれ、0歳児を初めて育てて



赤ちゃんがきた!(BP)

☎ 46-5616
市ホームページで「家庭教育講座」を検索

家 庭教育は全ての教育の出発点。市では、子どもの年齢に応じた各種講座や講演会を開催しています。パパママ同士で、育児の悩みや喜びを共有しませんか。
☎ 社会教育課



あだちゆうみ
安達佑美 事務員

育児をもっと楽しく!
「家庭教育講座」

現役パパ・ママ!

disagree

意見

chapt. OPINIONS
問題を可視化する関心

agree

若年妊娠どう思う?



20代/妻

二宮 杏奈さん

(中河町)

孤立しない環境づくりが先決

出産も中絶も各自の選択。でも「もし妊娠したら」なんて学校では習っていません。だから若いほど、自分からサポートを求める力と孤立しない環境が必要なんですよね。

学業の優先は自立につながる

将来の自立には、高校卒業が不可欠。資格は後で子育てを楽にするし、人脈は自分や子どもの居場所を作ると思うので、学業の優先を考えた方がいいかもしれません。

30代/夫

長谷川 大助さん

(中溝町)



40代/夫

須藤 三彰さん

(金谷宮崎町)

大人を頼り後悔しない選択を

妊娠出産への不安や人工中絶への偏見を、本人だけで振り払うのは難しいかも。自分を理解してくれる大人を頼ることを避けずに、後悔しない選択をしてほしいですね。



0歳の子どもをもつ親に、育児に役立つ「知恵と技」を体感してもらう講座です。今年度は、緊急時の救急講座と本格的なベビーマッサージ。開催は、夫婦で参加しやすい土・日曜日です。



— パパママ子育てサロン —

いるお母さんのための、仲間・きずな・学びの講座です。最初から一人前の親はいません。親としての悩みなどをみんなで話し合いながら、これからの子育てに必要な知識を学びます。

10代の妊婦・母親が持つ固有のニーズに対して、市では各種サポートサービスを提供。当事者には、自らの社会的・経済的支援とつながる一歩が求められている。

妊娠して悩んだら

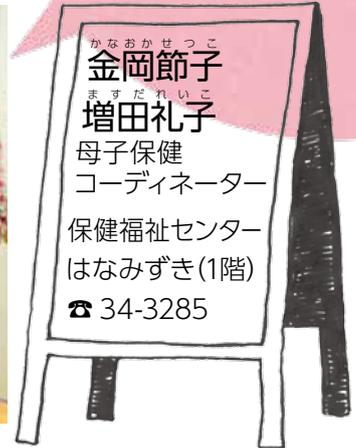
「てくてく」には、母子保健に関する専門的な知識を持った保健師「母子保健コーディネーター」が常駐しています。妊娠や出産、育児に関する不安や困り事の解決に向けて一緒に考え、心身の健康を保つための情報提供やアドバイスを行います。

コーディネーターは、必要に応じて子育てコンシェルジュや地域子育て支援センター、家庭児童相談員や医療機関などとも連携して対応します。妊娠して悩んだら、まずは話を聞かせてください。

Teku-teku



01 子育て世代 包括支援センター 「てくてく」



産後

お役立ち
サポート
サービス

10選

04

Premature
Baby

【未熟児養育医療】

身体の発育が未熟なままで生まれ、入院を必要とする乳児が指定医療機関に入院した場合、その治療に必要な医療費を助成します。

☎子育て応援課 ☎ 36-7159

Medical
Expenses

中学3年生までの子どもの入院・通院にかかる医療費の一部を助成します。

【自己負担額】

▷未就学児:入院なし、通院 500 円/回(月2回まで)▷小中学生:入院 500 円/日、通院 500 円/回(月4回まで)

☎子育て応援課 ☎ 36-7159

05

【こども医療費助成】

02

Prenatal
Checkup

【妊婦健康診査】

医療機関から妊娠届出書を受け取った市民が、妊娠中に委託医療機関で健康診査を受診する場合、基本健診 14 回、超音波検査 4 回、血液検査 1 回の費用が助成されます。(助産所で使用できる回数は異なります)

☎健康づくり課 ☎ 34-3282

FSB

03

「ひとり親家庭等」に該当する人が、子どもの預かりなどを行うサービス「ファミリーサポートセンター」を利用した場合、料金の半額を助成します。

☎子育て応援課 ☎ 36-7159

【ファミリーサポートセンター】

08

【女性相談員】

女性相談員は、女性が抱えるさまざまな問題を共に受け止め、解決に向けてお手伝いします。(月・火・木・金曜日)
 ㊟家庭児童相談室 ☎ 36-7253

【相談内容の一例】秘密は厳守します。

- ◎離婚など夫婦関係の悩み
- ◎夫やパートナーからのDV
- ◎親子・嫁姑・親族の困り事

*Female
Counselor*

Allowance

09

国民健康保険加入者が出産したとき、世帯主に42万円が支給されます。
 ㊟国保年金課 ☎ 36-7151

【出産育児一時金】

【赤ちゃん訪問】

06

生後2ヶ月頃に、保健師または助産師が自宅を訪問し、身体計測・育児のアドバイス・乳幼児健診・予防接種などの説明を行います。出産後「新生児出生通知書」を提出してください。
 ㊟健康づくり課 ☎ 34-3281

*Baby
Visit*

妊娠中・出産後間もないママが、安心して子育てができるよう、育児経験のある保育士などが家庭を訪問し、育児支援や相談に応じます。

*Childcare
Supporter*

例：沐浴補助、母不在時の乳児見守り
 ㊟子育て応援課 ☎ 36-7159

07

【育児サポーター】

支援

新米ママを応援!

chapt. | SUPPORT
 固有のニーズへの対応

しまだの

産前



子育てで困ったら

「子育てコンシェルジュ」は、妊娠期から18歳までの子どもに係る子育ての相談に応じる専門職員です。保護者の悩みやニーズに合った支援サービスなどを家庭の状況に応じて紹介し、関係機関とのコーディネートを行う役割を担っています。

子育てコンシェルジュの目標は、親自身が自らを肯定できるよう、それぞれの子育てに「伴走」すること。独りで悩まないで、まずはお相談ください。

【相談内容の一例】

- ◎子育てに不安があるけど、聞いてもらえるの?
- ◎この子に合った保育園・幼稚園はどこかしら?
- ◎再就職の予定だけど、保育園の空き状況は?
- ◎育児中の親同士が、知り合える場所はある?

*Childcare
Concierge*

10
 子育て
 コンシェルジュ



Our Choice!

ワガヤのタカラ

「次女を出産しました」

左から: 倉田由加さん

(妻・同3ページ/野田)

桂吾さん(夫)

小春ちゃん(長女)

※倉田さんは、若年出産の経験者ではありません。

受容

chap. | RECEPTIVENESS
子どもの今と正対する

20歳未満は「未成年」。だが、女性は16歳から婚姻により民法上の「成年」となる。

母 子の健康水準向上のため、国民運動計画「健やか親子21」で、政府は妊娠・出産により教育を受ける機会が妨げられないよう取り組みをしている。しかし、育児と仕事・介護を両立できる社会が

うたわれる一方で、在学中に妊娠した中学生が学業を優先するには、多くの課題が存在するのが現実だ。現役高校生が妊娠により、休学や退学といった不利益「マタニティーハラスメント」を受ける事例が発生していることに対し、文部科学省は「妊娠と学業は両立できる」と発表している。だが、産む権利と学ぶ権利を同時に保つための、具体的な取り組み方法は示されていない。

若 年妊娠は「少子化や晩婚化への対策は公的に必要だが、未成年の性交の責任は私的である」という大人社会の「事なかれ主義」を浮き彫りにするが、翻弄される若者の存在は見えにくい。未成年の妊娠を「非行」として扱い、不可視化しているからだ。「望まない妊娠」を防ぐため

には、医療機関への早期受診による「考える時間」と、それを促す「相談できる環境」を用意し、選択肢を確保することが重要だろう。しかし現状で

え最低限の生活を保障してくれるセーフティーネットになる。性的搾取の被害女性は、常に思いがけない妊娠と隣り合わせにあると言える。

若年妊娠のリスクを軽減する術は、回避と対処。前者は、妊娠の知識と避妊の技術であり、後者は妊娠判明後に適切

ハハのハハのキモチ

若年妊娠を見守った母



次女が、高校在学中に妊娠、出産を選択して中退。その後、単位制高校に編入・卒業した。

高 校生だった娘が、まさかの妊娠を告白。待ち受けるであろう苦労を諭しましたが、若い二人には想像できなかったようです。背伸びをして緊張した面持ちで、乳児健診へ出掛ける娘の姿を思い出します。

しかし孫の誕生は、周囲の大人の世界を見事に一変させました。年老いてゆくはずの日々に笑いと活力を与え、大人の体裁や都合に関係なく成長する子ども。今では、その生命力に恩恵さえ感じる毎日です。

望 まない妊娠であっても、当事者やその子どもは地域社会の未来を支える宝。その健やかな成長を見守り関わることは、大人の責務でもある。特に、産まない選択もある中で、新しい命と向き合う決断をした母親が育児を続けるには、周囲の理解による自己肯定感が欠かせない。

家族が産み、地域で育て、未来を託すのが、命の普遍的な営み。望まない妊娠を「望んだ選択」に変えるための第一歩は、大人が子どもに関心を持ち、子どもに大人を信用してもらうことだろう。

少 しの間だけ、想像してほしい。彼女の目になって：なんで涙が流れるのか。耳になって：どんな言葉に傷つくのか。心になって：いつまで不安で震えるのか。ほんの少しの間だけ。

「カゾクのカタチ」は人それぞれ。共に生き、共に成長し、共に助け合えるなら、地域は大きな家族になれる。

は、若年妊娠の実態と当事者のニーズに応じた支援策は、まだ十分だとは言えない。

全 ての若年妊娠が、本意であるとは限らない。貧困化や孤独感が、性風俗や性行為に結び付くことは少なくない。行き場をなくした少女にとっては、その世界でさ

育ち育てやすいまちならば、誰も**の選択が「ベストチョイス」になるに違いない。**